



強くなりたい。コーチの言葉でスイッチが入った。



青空の下、ラリーが続く。



駆ける、仲間と。



声が響く。面が決まる。



一緒だから、強くなれる。



響け、私たちのメロディ。



好きに出会える場所が、ここにある。

おおぶ 地域クラブ

地域とつながる、新しい活動のはじまり。

子どもたちが「好き」に出会い、夢中になれる場所を「地域」の中に。市では、これまで学校が主体となっていた土日の部活動を、地域での活動へと展開する新たな一歩として、8月から「おおぶ地域クラブ」を本格的に始動しました。学校の枠を超えて地域とつながることで、子どもたちはさまざまな体験に触れ、自らの可能性を広げていきます。今号の特集では、みんなでつくる新しい活動のカタチ「おおぶ地域クラブ」の取り組みを紹介します。

学校教育課 ☎(46)3332

部活動、アップデートしよう？

なぜ今、部活動は地域展開するのか

最近、「部活動地域展開」という言葉をよく耳にしませんか？

現在、全国的に部活動の地域展開が進められています。なぜこのような動きが起きているのか、その背景に迫ります。

部活動の現状

学校の部活動は、近年の少子化により部員数が減少し、これまでのような体制の維持が難しくなっています。

長年にわたって教員が中心となって支えてきましたが、現在では教員の働き方改革が求められ、その負担の大きさも大きな課題となっています。

その一方で、子どもたちが本当にやりたい活動に取り組めるよう、部活動の在り方も見直されてきました。

国のバックアップ

教員の働き方改革や少子化への対応として、2022年12月にスポーツ庁・文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定しました。

市の取り組み

23～25年度を部活動改革推進期間、26～31年度を改革実行期間と位置付け、部活動の地域連携や地域展開を全国的に推進しています。

国のガイドラインを受けて、学校教育の一環として行ってきた部活動をどのように地域での活動へと展開するのか、市の実情に応じた部活動の在り方について協議を重ね、23年3月に「大府市中学校部活動地域移行ビジョン」を策定。
25年8月から、原則として学校主体の土日の部活動は行わず、おおぶ地域クラブでの活動へと本格的に展開しました。
一人一人の多様な価値観を尊重し、地域でのスポーツ・文化活動を通じて、互いに学び合い、成長できる持続可能な環境をつくることを目指していきます。

INTERVIEW

生徒たちのより良い活動のために地域と歩む

大府西中学校
伊賀友信 教頭

教員は部活動の教育的意義を大切にしつつも、休日の指導や専門外の顧問業務に大きな負担を感じていました。

おおぶ地域クラブ設立に当たっては、「連携」と「隙間を埋める」ことを意識し、運営側との協議を進めてきました。

地域指導者の関与により、こどもの達成感や満足度も向上しています。今後も学校とおおぶ地域クラブが連携し、子どもたちが安心して活動できる、より良い環境づくりを目指していきます。



おおぶ地域クラブ

おおぶ地域クラブは、子どもたちが将来にわたり、継続してスポーツ・文化活動に親しめる環境を整えるための新しい地域連携型の取り組みです。

市内のNPO法人・大学・民間団体などと連携し、「オールおおぶ」の体制の下で、子どもたちの充実した活動を支えていきます。

INFORMATION

- 日時** 土曜・日曜のいずれか 1日3時間(年間36回程度)
- 場所** 市内中学校・公共施設など
- 対象** 市内在住の中学生
- 料金** 月2000円 + 年800円(保険料) ※別途大会参加費など
- 申込** QRコードの申込フォームへ。



種目

- 陸上
- サッカー
- 野球
- 卓球
- バレーボール
- ソフトボール
- ソフトテニス
- バスケットボール
- バドミントン
- 剣道
- 弓道
- 吹奏楽



おおぶ地域クラブ始動

みんなで作る、新しい活動のカタチ



市では、部活動の地域展開に向けた第一歩として「おおぶ地域クラブ」を始動しました。スポーツ・文化活動を通して、世代や学校の枠を超えて支え合う、新しい活動です。ここでは、おおぶ地域クラブの概要や運営に関わる方々の想い、魅力を紹介します。



FOR PARENTS



保護者 にとってのおおぶ地域クラブ

安心して任せられる、安全なサポート体制

活動では、複数の指導者によるサポートや徹底した安全管理を行っています。連絡アプリでの情報共有やスポーツ安全保険への加入なども行い、保護者に安心してもらえる体制を整えています。

地域ぐるみで支える、子育ての新しいカタチ

NPO法人・大学・民間団体などが連携し、運営・研修・安全管理に至るまで一貫した体制を整えています。家庭・学校だけでは対応が難しい部分も、地域全体で支え合える仕組みが確立されています。

voice



保護者
佐藤あづさん

学校の先生ではない外部の指導者との交流は、子どもにとって新鮮で良い経験になりそうです。吹奏楽は室内での活動なので猛暑でも安心ですし、顧問の先生がおおぶ地域クラブの指導にも関わってくださるため、指導面でも信頼して参加させることができます。

FOR CHILDREN



子ども にとってのおおぶ地域クラブ

好きなことにチャレンジできる

学校の枠を超えて地域での活動を進めることで、これまでできなかった種目・分野にも挑戦できるようになります。一人一人の興味・個性に合ったさまざまな体験の機会が増え、自ら積極的に参加し、学ぶ意欲が高まることが期待されます。

専門性の高い指導でスキルアップ

地域のスポーツ・文化分野の専門家が指導に携わることで、生徒の技能向上や深い学びが実現できます。将来的には、プロのスポーツチームなどとも連携しながら、より質の高い体験を提供できるよう目指しています。

地域の人とつながり、成長できる

地域の大人と交流することで、学校ではなかなか出会えない多様な価値観・考え方に触れることができます。地域の人々と築く関係性の中で、生徒の協調性・自立性が自然と育まれていきます。

自分らしく輝ける新しい体験の場

活動の場が学校の枠を超えて地域へと広がることで、学校生活とは違った視点からの成功体験や認められる機会が生まれます。一人一人の自己肯定感・自己効力感が高まることが期待されます。

voice



大府北中1年生
吹奏楽クラブ
佐藤詩織さん

おおぶ地域クラブのおかげで休日にも活動でき、練習時間が増えるのでうれしいです。

外部の先生からの指導は楽しく、演奏技術の向上につながっています。

部活動とメンバーもほとんど同じで、仲間や先生との関係も良好なため、安心して楽しく活動に取り組んでいます。

FOR COMMUNITY



地域 にとってのおおぶ地域クラブ

地域みんなで育てる、つながり広がるコミュニティ

子どもたちの成長を地域全体で支えることで、教育の役割が学校だけではなく地域にも広がっていきます。地域の人々が子どもたちの育ちに関わる機会が生まれ、コミュニティの活性化につながります。

地域の力を生かす、新たな活躍のステージ

地域のスポーツ指導者や文化の専門家、大学関係者などが、それぞれの知識・経験を生かして活躍する場が広がっています。公共施設などの地域資源を有効に活用することにもつながっています。

voice



吹奏楽クラブ指導者
岩瀬洋介さん

子どもたちの自主性を大切に、生徒同士で練習内容を話し合いながら活動を進めています。コンクールだけでなく地域での演奏機会も大切に、音楽性と人間性を育てる場を目指しています。市出身として学んできた知識を大府の子どもたちへと還元していきたいです。

地域というチームで、子どもたちを支える時代へ

現場管理

コミュニケーションで築く 安心のクラブ運営

現場巡回担当として、人や物の管理を行い、安全で円滑な運営を支えています。指導者とのコミュニケーションを大切にし、話し掛けやすい存在を目指しています。

おおぶ地域クラブを長く続け、卒業後も指導者として戻れる場に、市全体のスポーツ・文化の発展に貢献したいと考えています。

一般社団法人LISOBU 塩澤健太さん

育成

研修管理

専門性を生かして 地域の指導者を育成

育成・研修担当として地域指導者の育成に当たり、対面式で分かりやすい研修を行うほか、多忙な指導者向けに動画も作成しています。

多数のアスリートを輩出する至学館大学ならではの専門知識の強みを生かし、地域の力になればと、思って取り組んでいます。

至学館大学 鈴木達見教授

INTERVIEW

関係者の 想い をお聞きしました

運営管理

おおぶ地域クラブを子どもの成長の場に

部活動の地域展開に当たり、保護者や生徒の皆さんが安心して参加できるように、出席管理アプリの導入や指導体制の見守りなど、工夫を重ねています。地域の多様な大人との関わりは、子どもたちにとって貴重な学びの機会となり、質の高い指導を安価に受けられる点も魅力です。スポーツや文化活動を通じて、子どもたちの成長を支え、生涯にわたる豊かな経験につなげていきたいと考えています。今後はおおぶ地域クラブが地域に根ざした存在となることを目指し、より良い環境づくりを進めていきます。

NPO法人TRILL
代表 山田大空さん



おおぶ地域クラブのごとろ

あれ、気付いちゃいましたか？

気になるギモンにお答えします

おおぶ地域クラブ Q&A

Q 参加は義務ですか？

A 義務ではありません。

おおぶ地域クラブは、希望者のみが参加する任意の活動です。

スポーツ・文化を含む多様なジャンルを用意しているため、子どもたちが学びたい分野や挑戦したい活動を自由に選んで参加できます。

Q どの中学校のクラブにも入れますか？

A 住んでいる地域のクラブに所属します。

原則として、居住している中学校の学区内のクラブに参加できます。

複数の中学校が合同でチームを構成しているクラブについては、学区外でも参加できます。

Q 活動中のけが・事故など、安全管理はどうなっていますか？

A 運営体制を整えています。

指導者が2人体制で活動を管理し、安全に配慮した運営を行っています。

さらに、現場管理者が順次現場を巡回し、管理に努めています。

万が一の事故が発生したときには、加入している保険で対応します。

Q 指導者はどのような人ですか？

A 実績と知識を兼ね備えた人材です。

連携している至学館大学の講師による研修プログラムを修了した各競技での豊富な経験と専門的な技術・知識を持った人です。

将来的には、プロスポーツチームや大学との連携も視野に入れています。

Q クラブの掛け持ちはできますか？

A 掛け持ちはできません。

所属は1人1クラブまでです。

Q 活動中の様子は見られますか？

A 見学には事前の許可が必要です。

指導者への事前相談の上、許可が出れば見学できます。

Q 今、何人くらい参加していますか？

A 市全体で、1212人の子どもが参加しています。(8月15日現在)

おおぶ地域クラブの現場に潜入取材

地域と子どもたちのリアルなつながり

実際に地域での活動はどのように行われているのでしょうか。

おおぶ地域クラブとして新たにスタートした男子バレーボールクラブの練習現場に潜入取材。生徒や指導者の声を交えながら、その魅力に迫ります。

このコートから、僕らの物語が始まる。

voice



大府中1年生 久野友愷さん

小学生の頃から続けてきたバレーボールを中学生になっても続けたいと思い、おおぶ地域クラブに参加しました。学校や学年を超えて仲が良く、みんなで楽しく活動しています。指導者は良いところを褒め、悪い部分はしっかり指摘してくれるので、成長を実感しながら取り組んでいます。

INTERVIEW

バレーボールの楽しさを感じてほしい

子どもたちの安全を第一に、パスやレシーブ、スパイクなどの基本のプレーを丁寧に指導しています。まずは個々の力を伸ばして、チームとしてのプレーや試合につなげられるよう心掛けています。勝敗にこだわらず、バレーボールの楽しさを感じてもらうことが一番の目標です。練習を重ねて上達し、一人前になっていく姿には大きなやりがいを感じます。子どもたちが楽しんでくれることで、日本のバレーボールがさらに盛り上がりそうです。

男子バレーボールクラブ指導者
後藤修さん



教育委員会 学校教育課
大下瑛司

「好き」と「可能性」が広がる 地域でつくる新しい活動のカタチ

市では、中学校の部活動を地域へ展開することで、多様な価値観を持つ子どもたちが自分の「好き」や「可能性」を見つけられる環境づくりを進めています。学校だけでなく地域全体で子どもを支える「共育」の仕組みを強化し、専門的な指導や安全安心な運営体制を整えることで、子どもたちの主体的な学びや成長につなげていきます。教員の負担軽減に加え、保護者や地域の皆さんと一緒に支える持続可能なスポーツ・文化活動の基盤を構築することで、未来を担う子どもたちの豊かな育成と、誰もが参加しやすい共生社会の実現を目指します。

